

令和元年第4回市議会(臨時会)

市長所信表明

## 所 信 表 明

### 1 はじめに

このたびの市長選挙において、市民の皆さまから信託をいただき、市長に就任いたしました。

歴史と伝統ある堺市政をお預かりすることは、大変名誉なことであると同時に、その重責に改めて身の引き締まる思いです。

本日は、今後の私の市政運営にかかる所信の一端を述べ、市議会議員の皆さま並びに市民の皆さまに、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 2 基本方針

まず、市政運営にあたりましては、次の3つの基本方針のもと取組を進めます。

1つめは、「堺の成長戦略」です。

念願であった百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録の実現が目前となりました。また、2025年には、大阪・関西万博が開催されるなど、国内外から堺に注目が集まる大きなチャンスが巡ってきています。

こうした機会を的確に捉え、堺が持つ全国的にも類稀な歴史、伝統、文化、技術等に更に磨きをかけ、内外に広く発信することで、新たな交流を生み出していくことが重要と考えています。

観光や産業、交通をはじめとした様々な分野で、大阪府や大阪市、近隣の自治体との積極的な連携を進め、堺の成長をめざします。

2つめは、「区役所の機能拡充による自治の強化」です。

住民ニーズがますます多様化する中、身近な行政課題を暮らしの拠点である区役所で解決できる仕組みづくりが求められています。

住民サービスの一層の充実を図るため、今まで以上に権限と財源を区役所に移譲することで自治機能を強化し、住民の声がより届きやすい行政を実現します。

3つめは、「民間でできることは民間で」です。

これまで主に公が担ってきた行政サービスについて、今の時代に合った官民の役割分担のあり方を検討することが必要です。

堺市としても、民間でできることは民間で担っていただき、市の支出を抑えつつ、新たな雇用の創出や都市魅力の向上、併せて民間のビジネスチャンスの拡大を図ることが重要と考えています。

公の責任を果たしつつ、民間の経営感覚を活かして住民サービスの一層の向上が見込める分野・事業については、積極的に民間活力を導入します。

### 3 具体的な取組

これらの基本方針に基づき、今までの市政の税金の使い方を改めて点検します。今の事業が住民ニーズに合っているのか、他の自治体や民間と連携することで、より効果的、効率的にできないかなど、事業の必要性や手法等をゼロベースで点検します。これらを通じて、事業の見直しを行うとともに、新たな取組にも挑戦します。

今後4年間に重点を置いて進める具体的な取組について申し上げます。

まず、「市民の皆さまが実感できる住民サービスの向上」を図るために、子育てや教育環境の充実、住み慣れた地域で安心して生活できる環境整備を進め、堺に住んでよかったと実感していただくよう取り組みます。

子育て支援と教育環境の充実に向けては、市立中学校における給食の全員喫食を実現します。中学生の個々のおかれた環境にかかわらず、栄養バランスのとれた昼食を提供します。

また、保育所等の待機児童対策では、保育の質を確保しながら、市有財産の有効活用や保育士の確保による受け入れ枠の拡大などを進めることにより、待機児童ゼロの実現を図ります。

さらに、今後、ますます進むと考えられるグローバル社会に対応できるよう、オンライン英会話などの効果的な手法を活用し、実践的な英語やICTスキルが身につく教育を進め、世界で活躍できる人材を育みます。

住み慣れた地域でこれからも安心して生活していただく環境の整備に向けては、高齢者を社会全体で支える地域包括ケアシステムを推進していくため、その基幹拠点である地域包括支援センターの拡充を図ります。さらに、一人暮らし高齢者や、いわゆる老々介護の世帯のゴミ出し支援など、高齢者が安心して暮らしていただくための施策を、市民の意見を聞きながら検討を進めます。

また、障がいのある全ての世代の方々が毎日を充実し、希望を持って暮らせるよう、子育てから学校教育、就労、生活に至るまでのサポート体制の強化をめざします。

生活困窮世帯において、親から子へ、子から孫へと世代を超えて貧困から抜け出すことができない、いわゆる「貧困の連鎖」を解消できるよう、取組の強化を図ります。また、児童虐待防止に向けた児童福祉司等によるサポート体制の充実を図ります。

がん検診について、現在実施している五大がんを対象とした自己負担の無償化の適用範囲の拡大や、自己負担額の軽減を図ることにより、がんの早期発見、早期治療を促進し、市民の健康寿命の延伸をめざします。

地域の犯罪防止に役立つ防犯カメラや防犯灯の戦略的な設置を図るため、現在実施している自治会申請分に加えて、警察と区役所が連携した重点地域の策定などの検討を進めます。

生活に欠かすことができない上下水道については、新たな仕組みによる施設の管理、運営手法を検討し、安全・安心を確保しながら料金値下げの実現をめざします。

フェニーチェ堺が10月にグランドオープンします。質の高い文化芸術の鑑賞の場だけでなく、様々な活動や発表の場としても市民に親しまれるよう、使い勝手や魅力の向上に努めるとともに、民間の力を活用しながらより魅力的かつ税金の投入が少なくて済む運営方法を検討します。

また、茶の湯等の歴史文化や、アルフォンス・ミュシャなどの堺が誇る貴重な芸術作品の数々を大切に守りながら、その魅力を内外に向けて広く発信します。

次に、「子どもや孫の世代に貴重な資産を残す」ための取組です。歴史ある環濠エリアや内川・土居川、現在に息づく伝統・文化、大阪湾に面した恵まれた立地などの堺が持つポテンシャルを、最大限に発揮しながら、大阪府や大阪市、近隣の自治体との連携を強化し、市民はもちろん国内外からも多くの方が訪れ、魅力を感じてもらえるまちづくりを進めます。

世界文化遺産登録の実現が目前に迫る百舌鳥・古市古墳群については、世界遺産の本来の趣旨である人類全体のための貴重な資産として、次の世代に継承できるよう、保全に取り組みます。

また、世界遺産登録を契機として、内外の多くの方に堺を知ってもらい、堺を訪れ、魅力を感じていただくよう、大阪府や羽曳野市、藤井寺市と連携しながら、受け入れ環境の整備を進めるとともに、堺が誇る歴史・伝統・文化を広く発信します。

さらに、仁徳天皇陵古墳に隣接する大仙公園をはじめ、金岡公園などの大規模な市営公園について、パークマネジメント導入の検討を進め、民間の知恵と工夫を活かして、市民をはじめ堺を訪れる多くの方々に魅力を感じていただき、人が賑わう拠点づくりを進めます。

泉北ニュータウンの再生では、近畿大学医学部の開設を契機に、健康関連の企業の誘致をはじめ、先端技術開発やサービス提供など、大学や民間の力を活かした健康長寿のまちをめざします。さらに、

緑豊かな住環境という利点を活かしながら、子育てしやすい環境をめざし、大阪府やUR都市機構などの公的住宅の管理者とも連携し、若い世代の方が住みたくなるような魅力あるまちづくりを進めます。

今年、大阪市立大学との法人統合が行われた大阪府立大学の中百舌鳥キャンパスについては、その存続はもちろん、特に強みである理系分野を強化し、堺から世界へ発信できる知の拠点として機能拡充が図られるよう、大学法人や大阪府、大阪市に働きかけます。

さらに、府立大学が立地する中百舌鳥エリアが、新技術の開発や新事業の創出が活発に行われる地域となるよう、府立大学との連携を強化するとともに、支援体制の充実を図ります。

また、堺東駅や堺駅など、市内の主要駅を核としたエリアは、それぞれの魅力や特性に応じて取組の強化を図ることで、中心市街地やベイエリアの活性化をはじめ、人々が集う賑わいの拠点づくりを進めます。

堺の長年の悲願である東西交通網の実現に向けては、LRT・BRT・モノレールなど様々な交通機関を想定し、任期中に計画策定に着手します。中百舌鳥駅の乗り継ぎ改善に向けては、地元自治体として積極的に鉄道会社等の関係者に働きかけます。

こうした堺の成長戦略やまちづくりを前に進めていくために、大阪府、大阪市との連携強化を図るべく、副首都推進本部への参加に向け、検討を進めます。

併せて、大阪府、大阪市や経済界とともに、観光戦略を企画立案できるよう、「大阪観光局」への参加も検討します。

安全・安心の確保は、全てのまちづくりの基本です。近年、全国で増加傾向にある自然災害から市民の生命、財産を守るため、消防力の充実をはじめ、警察やライフライン事業者等との連携強化を更に進め、防災対策を徹底します。

市役所は、市民の皆さまから信頼され、役に立つものでなくてはなりません。そのためにも内部マネジメントの強化に取り組みます。

近年、I T技術の進歩は著しく、社会の様々な分野でI Tの活用が図られています。ビッグデータ活用やA Iなど、I Tに関する戦略から運用までを一元的に管理する組織を新設し、行政としても積極的にI Tに関わることで、行政内部の業務効率化を図るだけでなく、住民サービスの向上につなげます。

また、市民の皆さまからお預かりする税金を効果的・効率的に活用できるように戦略的な財政運営を徹底します。

堺市が出資している外郭団体や関連団体については、設置目的が今の時代に合っているのか、実施している事業や運営体制が効果的であるかなどの観点で見直しを行い、業務の効率化につなげます。

#### 4 結び

以上、堺市長としての私の思いと、今後の4年間に取り組む施策の一端について申し上げました。

今後、本格的な人口減少・高齢化社会を迎え、社会保障費等の一層の増加が見込まれることに伴い、堺市の財政は厳しくなる一方で、住民ニーズはますます多様化することが想定されます。堺市としても、これらの課題に的確に対応しなければなりません。

堺市政には課題が山積しておりますが、堺のために、全身全霊を注いで取り組めば必ず道は拓けると信じています。

市議会議員の皆さま並びに市民の皆さまのご理解、ご協力を賜りますことをお願い申し上げまして、私の所信といたします。

令和元年第4回市議会（臨時会）  
市長所信表明

---

令和元年6月 発行

**編集・発行** 堺市財政局財政部財政課  
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号  
Tel 072-233-1101

URL <http://www.city.sakai.lg.jp>

---

堺市行政資料番号

1-B2-19-0091